

JSA 神奈川支部通信

No. 6 June 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 日本科学者会議神奈川支部第 61 回支部大会が開催される 神奈川支部事務局長 飯岡ひろし
- ◆ 5.3 県民のつどいを神奈川憲法会議が開催 後藤仁敏
- ◆ 市民の市長をつくる会が「市民が創る横浜市政つどい」を開催 後藤仁敏
- ◆ 追悼：今野宏元会員を偲ぶ 後藤仁敏

日本科学者会議神奈川支部第 61 回大会が開催される

神奈川支部事務局長 飯岡ひろし

日本科学者会議神奈川支部は 5 月 10 日（土）午後から、労働プラザにおいて、第 61 回の定期大会を開催しました。大会は支部規約『第 5 条 支部大会は全支部会員によって構成され、会員総数の三分の一以上の出席により成立する。支部大会の決定は出席者の過半数以上の賛成を必要とする』から、出席者 9 人（オンライン含む）、委任状 20 人をえて成立していることを確認し、決議案の要旨が事務局から提案され、すべての議案が可決されました。なお、支部費の値上げは今期も保留としましたが、数年後には繰越金がなくなることとあって、現状の支部会費 700 円の値上げを提案してもいいのではないかという意見がありました。今期は支部発足から 60 年をへて記念行事を検討しています。会員を増やすことと結びつく企画を会員のみなさんからひろく募集します。

支部大会に先立ち、記念講演とパネルディスカッションを開催しました。参加者ははじめての試みとして、オンラインの参加者をふくめて 12 人でした。科学者会議らしい学際的な討議がされました。また、今回、参加をよびかけた団体から、当日参加できないのでアーカイブが欲しいなどの反響がありました。詳細については次号で報告します。

日本科学者会議神奈川支部第 61 回大会決議

はじめに

いま、学術会議への菅首相による任命拒否が、何の説明もされないまま、政府は学術会議法改正案を閣議決定し、学問、科学の権力からの独立性を脅かそうとしています。すでに県内大学では理事者の権限が強化され、教授会など自治がないがしろにされるとともに、非常勤の職員が増大し身分の不安定な任期制によって多くの人々が職場をおわれ、研究の継続が困難になっています。

経済では、かつてない物価高騰によって生活は苦しくなっています。政府の一次産業への切り捨てともいえる政策は、主食であるコメすら足りなくなる事態になりました。アメリカのトランプ政権は、高率な関税によって国内産業を保護することを表明していますが、グローバル化の旗頭であ

ったアメリカの対応は世界の非難を浴びています。

これに対して、日本政府は、毅然とした態度をしめすこともなく、食料品などでデールをしようとしています。さらに、トランプ政権はウクライナへの侵攻をつづけるロシア、ガザ地区への殺戮ともいえるイスラエル、を擁護してきました。トランプ政権は、イスラエルへの非難する大学への補助金の打ち切りなど、露骨な介入をしています。大学当局はこれを拒否しています。また、気候変動枠組み条約からも離脱しました。少数与党として発足した石破政権は第7次エネルギー基本計画で、原子力、石炭火力の拡大を決定し、パリ協定による温暖化ガスの削減に背を向けています。

日本科学者会議神奈川支部（JSA かながわ）は科学者会議の方針を具体化し、沖縄につぐ基地県として、沖縄に連帯しながら、日米安保条約にもとづく再編強化に反対し、米軍ノースドックへの小型揚陸艇部隊の配置などさまざま、課題に取り組んできました。また、コロナ禍においては保健所など衛生行政の弱体化がその背景にあること、病棟の整備、後遺症への対応などを県・おもな地方自治体、市議会に提言をおこなって、一定の見解を引き出してきました。昨年は10月に、ひろく市民にむけて『核兵器開発への科学者の責任』を問う講演、そして研究交流会を開催し、また支部大会での研究交流会は支部会員による教育問題の講演とシンポジウムを開催します。

日本科学者会議神奈川支部（JSA かながわ）は科学者会議の方針を具体化し、沖縄につぐ基地県として、沖縄に連帯しながら、日米安保条約にもとづく再編強化に反対し、米軍ノースドックへの小型揚陸艇部隊の配置などさまざま、課題に取り組んできました。また、コロナ禍においては保健所など衛生行政の弱体化がその背景にあること、病棟の整備、後遺症への対応などを県・おもな地方自治体、市議会に提言をおこなって、一定の見解を引き出してきました。支部は『九条科学者の会』『平和で明るい神奈川県政をつくる会』などに参加するなど、神奈川、横浜市などの市民の民主的活動に寄与してきました。

支部は今年で結成60周年をむかえます。会員数は多い時には数百人でしたが、現在は4分の1以下となっています。全国的には減少がつづいていますが、支部はここ数年現状を維持して毎年、新しく入会されています。幹事会は定期的に開催され、雑誌の郵送は自力で行っています。しかし、昨年の大会時点で会員の平均年齢は70歳、病気などで退会される方も多く、このままでは、組織的な運営が困難になることは明白です。現役会員を増やし、大学ごとの活動の再開、さらには、幹事会の若返りが必要です。東京に次ぐ一千万ちかい人口をようし、多くの大学、研究機関などが立地している神奈川県、全国で最大の基礎的自治体の横浜市など、その課題は多様であって、科学者会議に求められるもの大きい。

報告の部

A 活動報告

1. 社会的活動（他団体との交流、個人参加ほか）

- 1) 横浜ノースドック見学会&学習会（2024年3月22日、万国橋会議センター、70人、ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会と横浜平和委員会の共催）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024年5月号）
- 2) 憲法を考える 5.3 県民集会：軍事大国化のための改憲（5月2日、かながわ県民センターホール、講演：大江京子さん（弁護士、改憲問題対策法律家6団体連絡会事務局長）「軍事大國會のための改憲－憲法審査会のいま」、主催：かながわ憲法フォーラム、200人）に参加（JSA 神奈川支部通, 2024年6月号）
- 3) 2024年5月3日（憲法記念日）の「九条かながわの会」主催の桜木町駅前広場での宣伝活動に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024年6月号）

- 4) 5.3 県民のつどい（5月3日、県立青少年センターホール、講演：志田陽子さん（武蔵野美術大学教授）「平和の危機と『表現の自由』一人権保障こそが安全保障」、主催：神奈川憲法会議、600人）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年6月号）
- 5) 学習会「栄区の防災対策を考える」（3月28日、さかえすた3階大会議室、主催：栄区革新懇、栄区九条の会、新日本婦人の会栄支部、年金者組合栄支部、50名）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年6月号）
- 6) 第14回鶴見平和フェスティバル「平和を創る集い in 鶴見」（5月19日、講演：ダニー・ネフセタイさん「元イスラエル軍兵士が語る憲法9条の真価」、青井未帆さん（学習院大学教授）「憲法9条の視点から安保政策の転換を考える」、鶴見公会堂ホール、230人）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年7月号）
- 7) 安保法制違憲かながわ訴訟で東京高裁が不当判決（JSA 神奈川支部通信、2024年8月号）
- 8) 第5回山中市政を進める市民のつどい（6月23日、市従会館4階ホール、127人）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年8月号）
- 9) 4区市民連合主催衆議院選挙勝利集会（6月25日、鎌倉生涯学習センターホール、220名）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年8月号）
- 10) 根岸線沿線九条の会：安田菜津紀さん講演会（6月29日、横浜港南台教会、150人）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年8月号）
- 11) 安保法制違憲全国ネットワークと総がかり行動実行委員会主催の市民集会「とりもどそう立憲主義と平和憲法」（7月10日、参議院議員会館講堂、300人）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年9月号）
- 12) ノースドック米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会第2回総会（7月13日、神商連会館4階ホール）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年9月号）
- 13) 原水爆禁止2024年世界大会・科学者集会「ビキニ被災70年から被爆80年へー核兵器禁止条約への日本政府の参加を求めて」（7月27日、静岡大学）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年10月号）
- 14) 学習会「人権から捉える気候変動問題」（7月27日、あーすぶらぎ会議室、41名、講演：山本大貴さん）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年10月号）
- 15) 2024年8月15日（終戦記念日）の九条かながわの会とかながわ女性九条の会主催の桜木町駅前広場での宣伝活動に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年10月号）
- 16) 防災・減災学習会（8月20日、神商連会館4階ホール、主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会、講演：室崎益輝さん（神戸大学名誉教授）「減災社会と被災者支援ー能登半島地震に学ぶ」、報告：井坂新哉さん（共産党県議）「神奈川県における減災・防災の取り組みと課題」）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年10月号）
- 17) 市民のための横浜市政を進めるシンポジウム（9月1日、横浜市開港記念会館、100人以上、講演：内田聖子さん（岸本聡子事務所事務局長）「地域主権と公共の再生をめざしてー杉並区長選と住民運動の経験」、主催：市民のための横浜市政を進める会）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年10月号）
- 18) 憲法改悪を許さない緊急交流会（9月28日、かながわ県民センター会議室、57人、呼びかけ：九条かながわの会）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年11月号）
- 19) 憲法改悪を許さない緊急交流会（9月28日、かながわ県民センター会議室、57人、呼びかけ：九条かながわの会）に参加（JSA 神奈川支部通信、2024年11月号）

- 20) 市民の市長をつくる会第 47 回定期総会（10 月 3 日、横浜市健康福祉センター）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 12 月号）
- 21) シンポジウム「政府与党改憲方針の問題点」（10 月 6 日、かながわ県民センターホール、講演：清水雅彦さん（日本体育大学教授）「実質改憲としての『安保 3 文書』とその先にある 9 条改憲」、永山茂樹さん（東海大学教授）「緊急事態条項創設改憲の 2 つの危険ー議員任期延長と緊急政令改憲」 主催：神奈川憲法アカデミア、121 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 11 月号）
- 22) 横浜ノースドック米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会の桜木町駅前街宣に参加（10 月 11 日）（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 11 月号）
- 23) 和田征子さん（日本被団協事務局次長）のノーベル平和賞受賞式参加壮行会（11 月 29 日、鶴見公会堂会議室、85 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 1 月号）
- 24) 横浜ノースドックの全面返還を求める集会（12 月 17 日、神商連会館、挨拶：後藤仁敏、講演：星野潔さん、報告：山根徹也、行動提起：飛田久男主催：米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 2 月号）
- 25) 地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 京都（11 月 30 日、12 月 1 日、京都テルサ、570 名）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 1 月号）
- 26) 栄区革新懇総会（12 月 4 日、あーすぷらざ研修室、22 名、講演：政村修（市民のための横浜市政を進める会事務局長）「山中市政の 3 年間と市長選の課題」）に参加（JSA 神奈川支部通信 2025 年 1 月号）
- 27) 戦争しないと決めた憲法を、活かそう NO War our liberty!集会（12 月 22 日、桜木町駅前広場、500 名、主催：ピースかながわ）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 2 月号）
- 28) 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい（2 月 11 日、かながわ県民センターホール、基調報告：後藤仁敏、講演：志田陽子さん（武蔵野美術大学教授）「平和憲法と《シンボルの政治》を考える」、125 人）に参加、JSA 神奈川支部も参加する実行委員会主催（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 3 月号）
- 29) 加藤陽子さん講演会「戦争への道ーその時学問は」（2 月 4 日、横浜市開港記念館講堂、主催：神奈川県弁護士会）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 3 月号）
- 30) 神奈川大学人有志声明「日本学術会議法案に反対します」（2 月 27 日、有志 16 名の声明）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）
- 31) 神奈川国民運実行委員会の国会議員要請統一行動（2 月 19 日、衆議院第一議員会館多目的ホール、100 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）
- 32) 学習会「どうなっている？今の授業と教科書」（2 月 22 日、かながわ県民センター会議室、講演：金馬国晴さん（横浜国立大学教授））に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）
- 33) 平和で明るい神奈川県政をつくる会総会・県予算案学習会（2 月 25 日、建設プラザ、講演：神田敏史さん（県民連絡会）、報告：井坂新哉県議）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）
- 34) 神奈川国民運実行委員会の国会議員要請統一行動（3 月 19 日、衆議院第一議員会館大会議室、93 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 5 月号）

2. 研究活動

- 1) 支部研究交流会を 2024 年 10 月 19 日にかながわ労働プラザで開催、講演：山崎正勝会員（東京工業大学名誉教授）「核兵器廃絶への科学史、科学者そして市民の責任ー『原爆の父』オッペンハイマーその栄光と没落から考える」に続き、惣田昱夫会員（静岡理工科大学元教授）「有機フッ素化合物(PFAS)とは何か」、中野広会員（元水産総合研究センター）「気象変動と海洋環境」、後藤仁

敏会員（鶴見学名誉教授）『図説 歯からみた生物の進化』出版の苦労ばなし」の3つの話題提供があり、活発な討論をおこなった（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 12 月号）

2) 第 25 回総合学術研究集会「平和で豊かな地球を子や孫に伝えるためにー市民として科学者として今、私たちにできること」（11 月 23 日～12 月 8 日、オンライン開催）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 1 月号、日本の科学者 2025 年 3 月号） A1 平和問題分科会「戦争のない平和な時代を拓く」に後藤が参加し、「横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備の撤回と早期全面返還を求める市民運動」について報告、A2 分科会「九条改憲の動向の多角的検討：九条科学者の会 19 周年の集い」に後藤が参加し、「草の根の運動で憲法改悪を許さなかった九条の会運動ー九条科学者の会かながわの 20 年を中心に」について報告した。

3. 組織活動

1) JSA 神奈川支部第 60 回定期大会（2024 年 5 月 18 日、かながわ労働プラザ） 出席者 23 人と委任状 11 人で 3 分の 1 以上で成立。記念講演：萩原伸次郎会員（横浜国立大学名誉教授）「サンダー後のアメリカ」 活動報告、活動方針、会計報告を了承、役員選出を行なった（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 7 月号、8 月号）

2) 日本科学者会議第 55 回定期大会（5 月 25 日・6 月 9 日、オンライン開催）に、代議員として飯岡が、幹事として後藤が参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 7 月号、日本の科学者, 2024 年 9 月号）。

3) 「日本の科学者」編集委員会（2025 年 1 月 4 日、オンライン開催）の報告（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 2 月号）

4) 「日本の科学者」2025 年 4 月号読者会（2025 年 4 月 5 日、オンライン開催）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 5 月号）

B 支部費改定案（保留）

第 59 回大会では支部費改定を提案し、この第 60 回大会まで一年間の継続討議とすることにしました。『支部会費は 2,400 円で、2008 年から 15 年間据え置いてきました。支部ではこの会費を維持するため、毎月の雑誌の発送実務を幹事会の前に行うなど、経費の削減に努力してきました。しかし、2022 年度は、活動が正常化する中で、全国的な会議も再開され、また、支部が事務局をおく「かながわ総研」の移転に関わる支出もあって、赤字になりました。…支部会費の改定は 2,400 円（月 200 円）から 4,800 円（月 400 円）』するものです。一年間の討議では改定はやむを得ないという意見が多数ですが、反対の意見もみられました。また、全国大会など全国的な会議はいつでもオンラインで行われるなど、オンラインは利点ばかりではないものの、当面、出張費などの経費は抑制されています。近年にない大幅な物価上昇は生活への打撃となっています。したがって、今年度も支部費は据え置きとして改定を見送ります、なお、15 年以上の据え置いている支部会費ですから、しかるべき時期に改定を提案することになると思います。

C 会計（7 頁参照）

第 61 期予算案（第 60 期決算含む）

第 60 期決算は前年度の会費、当年度の会費ともに納入率が高かったため、前年度は特別会計から補充をししましたが、今年度は黒字となっています。しかし、繰越額は減少しているため、会員の拡大、会費納入の督促が必要となっています。

D 役員（新任（新）以外はすべて留任）

支部幹事：飯岡ひろし、後藤仁敏、鈴木秀顕、惣田昱夫、中野広、萩原伸次郎、濱田盛久、益田総子、横尾恒隆、中島常安 会計 監査：北山宏之 支部事務局長：飯岡ひろし（会計兼務）

支部代表幹事：萩原伸次郎、後藤仁敏（新） 大会代議員：飯岡ひろし

次世代の役員継承対策（会議などの在り方） 萩原、後藤、惣田、飯岡、中島、浜田

E 今期の取組み

1. 社会的活動

- 1) ノースドックの揚陸艦の配備に反対、横須賀など軍事基地の再編強化など、平和と民主主義の行動に参加する。
- 2) 学術会議会員候補 6 名の任命拒否を撤回させ、学術会議法改悪を阻止し、あらゆる思想統制への動きをやめさせ、学問の自由をまもる。
- 3) 山中市政の市民本位の政策の実現に努力するとともに、花博などさまざまに指摘される問題点には科学的に対応する。黒岩知事の再選をゆるさず民主県政の実現に協力する
- 4) 憲法 9 条を守る運動に参加し、憲法 9 条科学者フォーラムを計画する。科学者 9 条の会、平和で明るい神奈川県政をつくる会などに積極的に参加する
- 5) 大学、研究機関における軍事研究に反対し、労働条件の向上、非常勤職員の雇止めを辞めさせる。
- 6) コロナ後遺症など神奈川の医療体制の強化、行政への働きかけをおこなう。コロナ問題の総括を行う。

2. 研究活動

- 1) 諸会議にインターネットを活用して参加しやすいものとする。また、参加の困難な会員の意見交換 の機会をもうける。
- 2) 支部研究交流会を開催し一般の参加をえるように充実させる。従来の初春の研究家にくわえて、秋に市民を対象にした『研究発表会』を開催する。
- 3) 科学者会議の多様な専門性をいかして、市民団体の学習会など要求に応える講師の派遣などを行う。

会計報告および次年度予算(61期)

2025年4月1日

※1 支部会費は会費の内数で括弧書きとした

一 般 会 計							
	決算（第60期 2024年5月～2025年4月）			2023（参考）	備考	予算（第61期 2025年5月～2026年4月）	
	予算	決算	差額	決算		予算	備考
収入							
前期繰越金	213,670	213,670	0	150,000		175,610	
会費・雑誌代	504,000	529,200		464,880		504,000	10,800×50人 900円／月
（支部会費）			25,200			(120,000)	(2,400円×50人) 200円／月
補助金	24,000	24,000	0	34,600	本部事務局から	24,000	
雑収入	2,000	23,466	21,466	859	会場募金など	40,000	
計	743,670	790,336	46,666	650,339		743,610	
支出							
会費（誌代）	370,000	311,557	58,443	384,151		370,000	
支部活動費	30,000	45,880	△ 15,880	57,444	研究交流会など	30,000	
会誌等郵送料	45,000	41,392	3,608	60,463		45,000	
公告宣伝費	45,000	78,272	△ 33,272	—	H P 維持など	60,000	15,000
集会参加補助	20,000	17,870	2,130	43,500	参加・交通費※	20,000	
幹事会交通費	37,000	36,841	159	37,920		37,000	
総研会費	36,000	36,000	0	36,000	かながわ総研会費	36,000	
事務用品	30,000	41,466	△ 11,466	46,815	事務・消耗品	30,000	
振替手数料	6,000	5,448	552	6,734		6,000	
予備費	1,000	0	1,000	—		1,000	
小計	620,000	614,726	5,274	673,027		635,000	
次年度繰越金	123,670	175,610	△ 51,940	△ 22,688		108,610	
計	743,670	790,336	△ 46,666	650,339		743,610	

※オンラインの場合 1,000円/1H (一日5,000円打切)

特別会計 (特別事業等積立金)	
収入	
前期繰越金	300,000
一般会計から繰入	0
その他	0
支出	
一般会計へ繰り出し	0
その他	0
残額	300,000

正味財産 (現金・預金)		
帳簿		
特別会計	300,000	
前期繰越金	175,610	
計	475,610	
内訳		
振替口座	433,896	ゆうちょ銀行
普通口座	22,430	ゆうちょ銀行
その他	0	
現金	19,284	
計	475,610	

会計監査報告

第 60 期における支部会計に関して、出納記録及び証拠書類を精査し、現金・貯金残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されていることを認めました。
以上署名の上報告いたします。

2025 年 5 月 7 日 会計監査 北山 宏之 印略

2005 年 5 月 3 日の憲法記念日、神奈川憲法会議が、恒例の「5・3 県民のつどい」を開催し、379 人が港南公会堂に集まりました。初めに、代表委員の永山茂樹さん（東海大学教授）が、「今日は憲法の 78 回目の誕生日です。憲法を活かすため、しっかり学んで成果を活かしてください」と主催者挨拶をしました。

高橋宗瑠さんの講演

高橋宗瑠さん（大阪女学院大学教授）は『『パレスチナ紛争』を語る日本人にかけている視点—パレスチナをこんなにしたのは誰なのか』について、次のように講演しました（図 1）。

パレスチナ紛争は「戦争」ではなく、イスラエルによる一方的な住民の殺戮です。古代からアラブ人とユダヤ人が住んでいて、宗教的な理由から紛争しているとの思い込みは誤りです。

20 世紀初頭からアラブ系パレスチナ人が暮らすパレスチナ（当時オスマントルコ領）に、ヨーロッパのユダヤ人が「2000 年前ここは我々の先祖の土地だった。ここにユダヤ人だけの国家をつくる」というシオニズムを実現するために、移住してきたのが事の発端です。数千年前にパレスチナに住んでいたユダヤ教徒と現在のヨーロッパのユダヤ人との人種的なつながりはきわめて希薄です。しかし、シオニストはイギリス、アメリカの後ろ盾で強引に計画を進めました。

1947 年後半から 1948 年の「第 1 次中東戦争」の間に、ユダヤ人自警団（後のイスラエル軍）が武力でパレスチナ人を追放し、人口の 3 分の 2 が難民となりましたが、イスラエルは難民の帰還を一切許さず、世界中から募った移住者に土地を分配しています。

1967 年の「第 3 次中東戦争」でパレスチナの残り（ヨルダン川西岸とガザ）を軍事占領した後も、一貫してパレスチナ人を追放して土地を奪い、国際法違反の入植活動、国際人権機銃を無視した抑圧を続けています。法的にも差別され、西岸のユダヤ人入植者にはイスラエルの通常法、パレスチナ人にはイスラエルの軍法が適用されます。

1993 年に突然、パレスチナ解放機構 (PLO) とイスラエルが「オスロ合意」が結ばれ、西岸とガザで「パレスチナ自治政府」が設立されて、限定された自治権が認められるように思われました。しかし、自治政府はイスラエルと協力して、パレスチナ人の活動家を弾圧し、イスラエルの入植は促進され、植民地支配はむしろ強まりました。

2006 年、パレスチナ自治政府の選挙が行われ、「オスロ合意」を否定するハマスが圧勝します。欧米は民主的に選ばれたハマス政権をボイコットして自治政府への資金提供を打ち切ります。ハマスは武力による攻撃にも勝ち、自治政府主流派はガザから西岸に逃げ込み、自治政府の支配する西岸と、ハマスが実効支配するガザの分断が生じました。

イスラエルはガザを陸も海も完全に封鎖し、人や物資の輸出入が禁止され、漁業も農業もできなくなり、45 km²に 200 万人が住むガザは「青空監獄」と呼ばれるようになります。

その後も、イスラエルによるガザへの攻撃が続き、2023 年 10 月 7 日のハマスの攻撃が起きました。「パレスチナ人は決して屈しない」との意思表示とも言えます。イスラエルによるジェノサイドが始まり、5.2 万人が殺されました。



図 1 講演する高橋宗瑠さん

これに対し、国際的にイスラエルボイコット運動が展開され、日本でも伊藤忠商事などがイスラエルの軍事企業との協力を打ち切るなど、広まっています。昨年 11 月には国際刑事裁判所（ICC）がネタニヤフ首相らに逮捕状を発行しました。

長谷川拓也さんの講演

続いて、長谷川拓也さん（川崎合同法律事務所、弁護士）が「刑事手続きと再審の過去・現在・未来」について次のように講演しました（図 2）。

2024 年 9 月 26 日、袴田事件の無罪が確定し、再審のあり方について注目されるようになった。再審とは「誤判によって有罪の確定判決を受けたえん罪被害者を『迅速に救済する』ことを目的とする制度」とされているが、袴田事件では 1981 年 4 月に第 1 次再審請求をしてから 43 年間もかかり、大崎事件では 1995 年 4 月の第 1 次再審請求から 30 年経っても再審すら認められていない。『迅速に救済する』と言いながら、実際には「開かずの扉」と化している。

その原因は、再審については刑事訴訟法 19 条の規定のみで、証拠の保存や開示についての規定がなく、また再審開始決定に検察官が不服を申し立てることができるからだ。ドイツやアメリカでは、すべての証拠を開示することが認められている。また、ドイツやイギリスでは再審開始決定に対する検察の不服申し立てを認めていない。

このような再審法改正をめぐって、超党派の議員連盟（再審法改正議連）が改定案をとりまとめ今国会に提出し、成立をめざしている。これに対し、法務省は改正反対者も入る法制審議会に諮問している。国民救援会は法制審諮問反対声明を出しており、全国 521 の地方議会が改正を求める意見書を採択している。

あさか由香さんらの挨拶

参加団体を代表して、日本共産党参議院選挙神奈川予定候補のあさか由香さんが、「大軍拡が国民の生活を破壊しています。憲法を活かす政治を参院議院選挙で実現しましょう」と訴えました（図 3）。

最後に、「戦後 80 年の節目の年、この憲法をまもり、平和をまもる気持ちを、隣人に、そして世界に伝えてゆきましょう」との集会アピールを大きな拍手で採択して閉会となりました（図 4）。その後、上大岡駅まで、デモ行進も行なわれました（図 5）。



図 2 講演する長谷川拓也さん



図 3 挨拶するあさか由香さん



図 4 集会記念撮影



図 5 デモ行進

「市民の市長をつくる会」が 2025 年 4 月 20 日、横浜市健康福祉センターホールで、8 月 3 日の横浜市長選に向けて、「市民が創る横浜市政のつどい」を開催し、150 人が参加しました。

最初に、筆頭代表委員の私が「市長選に向けて、地方自治と市民の役割を学び、4 年間の山中市政をしっかりと評価し、政策についてみんなで議論しよう」と主催者挨拶をしました。

ついで、榊原秀訓さん（南山大学教授）が「地方自治の未来と市民の役割」について、以下のように講演しました（図 1）。



図 1 講演する榊原秀訓さん

トランプ大統領や安倍元首相に見られるような多元主義・法治主義・立憲主義を軽視する「選挙独裁」が横行している。また、辺野古米軍新基地建設のような国による自治体への強制や、地方自治法の改悪による国の「指示権」の導入が進んでいる。2023 年の統一地方選で、女性議員が増加したが、一方で、ポピュリスト首長が大阪や名古屋で議員定数を削減し、多数派が少数派を弾圧している場合もある。

ポピュリスト首長は、公務員への締め付けを強化している一方、公務員のアイヒマン化も見られ、公務員の人気も薄れている。臨時・非常勤の職員も増えている。国に仕える地方行政を担当すれば足りる地方団体ではなく、地方自治を活かして住民の権利と利益を実現する自治体が期待される。

質疑応答の後、日本共産党の古谷靖彦市議団長が「横浜市政と市議団の役割」について次のように報告しました。

山中市政の 4 年間では、カジノの撤回から 3 つのゼロの推進、防災対策では大きな前進があった。しかし、中学校給食では全員喫食は前進ではあるがデリバリー方式であること、国際園芸博が過大な目標を掲げていて負担が増えると予想されること、関内駅前のビルに 100 億円もかけるなどの点では納得できず、一般予算には反対した。

自民党からは未だになぜ IR をやめたのかという声があがっているが、大阪の現状を見ると横浜では撤回して本当に良かったと思う。4 期目より若い世代では山中では納得できない議員が多いが、それ以上での世代では山中でよいとの声がある。市議会最終日の団長会議で、維新からの提案で市議会傍聴席への防犯カメラの設置が提案され、古谷以外は賛成して決められてしまった。市長選では、離党して立候補表明した高橋徳美氏を推す動き、候補者を公募する動き、山中でよいとするという 3 つの動向が見られる。公明党は山中氏の政策を自党の業績として宣伝している。2 名離団した立民党は山中支持。維新も 2 人離団し、求心力が低下している。補選で一人増えた国民民主党は、高齢者への優遇に異を唱え、敬老パスの一部無料化には反対した。共産党は是々非々で対応している。補聴器購入への助成や防災対策は前進だが、デリバリー方式、花博、大型開発には反対している。出産費用の助成にも、自民党は「市長は公約を進めることを最優先にしている」と批判したが、公約を最優先にしないで何を最優先にするのだろうか。平和についての市議会の国への意見書は素晴らしいので、注目していただきたい。

市議団としては、市長選で誰を押すのかまだ決めていない。前回の市長選を闘った皆さんのご意見を伺いたい。

つづいて、菅野隆雄事務局長が「選挙公約と到達点」と「市長選挙政策（案）」について詳しく説明しました。政策は、「子どもを大切にし、市民の命と暮らしを優先し、住民自治と民主主義を尊重する横浜市政を進めましょう」とのタイトルで、市民への呼びかけ文と、1. 市民の切実な声に応え、子ども、高齢者、女性に優しい横浜、福祉、医療施策の充実した、暮らしやすい横浜を進めます、2. 地域にある力を生かし、産業振興推進・経済施策の充実、暮らしに直結した分野に公共投資を集中し、中小業者が潤い、若者が希望を持って働けるまち横浜を進めます、3. 市民の人権を擁護し、ジェンダー平等と住民自治を進め、憲法9条が生きる平和なまち横浜を実現します、4. 緑を守り、環境にやさしいまちづくりを進め、災害に強い安全・安心・被災死ゼロのまち横浜を実現します、の4つに分かれた69の項目からなるものでした。

質疑応答の後、市民のための横浜市政を進める会事務局長の政村修さんが、次のような特別発言をしました（図2）。横浜市は377万人の住む巨大な町で、当然、市民には多様な意見がある。山中市長は5月15日から6月5日までの次の市議会で、立候補表明すると言われるが、どういう段取りで進めるかまだ明らかにされていない。しかし、市長になって1期4年間の実績を見れば、これだけの公約を実行した市長は例がないと言えよう。市長は常々「最後は市民が決める」と言っており、この姿勢が変わらない限り応援したいと思う。



図2 特別発言する政村修さん

進める会も幅広い会で、どうやって一致点を見つけるかが難しい。前回は、大きな政策で協定を結び、具体的な政策は市民からの要望として山中氏に渡している。今回は、もう少し踏み込んで具体的な政策を入れたいと願っているので、ご意見をお寄せいただきたい。大切なのは、自民党市政を復活させないことだ。

最後に、代表委員の田中由美子さんが「市長選に向けて、ともに全力を尽くしましょう」との閉会挨拶をしました。市長選に向けたたいへん重要な集会となりました。

追悼：今野 宏元会員を偲ぶ

後藤仁敏

JSA 神奈川支部代表幹事を務められ、本会のために長くご尽力された横浜国立大学元講師の今野 宏さんが2025年4月14日に亡くなりました。享年93歳でした。

私は院生時代にJSA会員になりましたが、1975年から鶴見大学に勤務するようになっても永く東京支部に所属していました。1998年になって神奈川支部に所属するようになり、支部幹事会にも参加するようになり、そこで、当時の支部幹事であった松川康夫さんや秋葉繁さんや長尾演雄さんらとともに、今野宏さんにも出会いました。松川さんとは対照的な穏やかな性格で、どちらかといえば目立たない存在でした。



図1 「九条科学者の会かながわ」発足総会で議長を務める今野 宏さん

JSA 神奈川支部が1977年にまとめた『日本科学者会議10年歩み』によると、支部の前身となったのは1954年に設立された横浜科学者懇話会（Y・K・K）で、今野さんはその事務局を担っていた

とのこと。つまり、1966 年 2 月の支部設立の前から 60 年近くにわたって支部の中心を担ってこられたのだ。浜田盛久さんによると、支部代表幹事だけでなく、全国幹事や全国事務局員も務められたそうです。

しかし、そんな今野さんの大きな業績について、私は「九条かながわの会」でともに活動した岡田尚弁護士から聞かされたのでした。それは 1986 年 12 月に起こった、国鉄横浜人材活用センター事件です。このセンターに配属された国労組合員 5 名が助役に全治 4 週間の肋骨骨折の障害を負わせて逮捕された事件でした。暴行傷害の唯一の証拠として検察側が提出したのは助役が隠し録りしたカセットテープでした。今野さんは磁性体の研究者として、このテープの解析を担当だった坂本堤弁護士らに依頼され、オシロスコープを使用して解析し、ついに多くの箇所中断があることを明らかにし、当局の捏造であることを科学的に証明したのです（詳しくは、岡田尚著『証拠は天から地から』新日本出版社、参照）。1993 年に横浜地裁で全員無罪判決が下り、その後、職場復帰を勝ち取っている。この功績により、JSA 神奈川支部には国労横浜から幟旗が寄贈されています。4 月 15 日のかながわ総研での幹事会で、改めてこの幟旗を紹介し、今野さんへの追悼の意を表した次第でした。

今野さんについて驚かされたのは、退職後の 2001 年に横須賀市長選に立候補されたことです。敗れたとはいえ、2 万 5810 票を獲得されました。このことは、他の会員にも大きな影響を及ぼし、2002 年には今野さんと同じく支部代表世話人であった松川康夫さんが横浜市長選に立候補したのです。私は横浜市民として身近な友人の立候補としてこれは応援しないといけなと感じ、生まれて初めて選挙の応援演説をしたのでした。松川さんはさらに無謀にも 2006 年の横浜市長選に立候補し、私はその応援をするなかで、いやがおうにも選挙母体である「市民の市長をつくる会」に関わるようになり、2005 年には「九条かながわの会」や「九条科学者の会かながわ」にも参加するようになりました。「九条科学者の会かながわ」に発足総会で議長を務めている今野さん写真を図 1 に掲げます。なお、この会は、川崎健、北川善英両氏と私が呼びかけ人となり、当初は、小坂淳さん、今野宏さん、塩谷光さん、尾藤朋子さん、松川康夫さん、森田祥さん、吉田尚さんら 10 名ほどの事務局メンバーが仕事を分担して楽しく活動しておりましたが、今野さんが亡くなったことで当時のメンバーの生存者は後藤一人となってしまいました。それでも、現在は、日本科学者会議神奈川支部の飯岡ひろしさん、惣田昱夫さん、浜田盛久さんらのご協力をいただき、何とか会の運営を続けております。

その後、2008 年に横須賀に米国の原子力空母が配備されて母港化反対運動が起こり、また、2011 年に 3.11 東日本大震災・福島原発事故が起こると、物理学者の今野さんの活躍の場は大きく広がりました。私が代表世話人を務める栄区革新懇でも、原子力空母問題について今野さんに講演をお願いしたこともありました。父上は、教育者、数学者、科学史家、民主主義科学者協会の初代事務局長、日本共産党の衆議院議員として活躍した今野武雄氏と伺っています。

その後、長い療養生活をおくられたと伺っていますが、改めて、今野さんの偉大な業績を偲び、深い哀悼の意を表する次第です。

行事案内

☆5 月 17 日（土）9:30～12:00 **かながわ市民連絡会 5 月全体会** zoom 会議（URL は ML でお知らせします） 担当 司会：15 区 書記：16 区 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）
5 月 17 日（土）13:30～15:30 **学習会 市民のための横浜市政を！** 会場：保土ヶ谷公会堂・第 1 号会議室 講師：あらき由美子氏（前日本共産党横浜市議団長） 参加費（会場・資料代）300 円 マスクを着用して、ご参加下さい。主催：市民のための横浜市政を進める保土ヶ谷の会 共催：保土ヶ谷革新懇 連絡先：須藤（090 - 2634 - 5976）
☆5 月 17 日（土）13:30～15:30 **中国近現代史講座全 10 回 最終回「経済から見た日中関係のいま」** 会場：戸塚地区

- センター2 階 B 会議室 会費 500 円 (資料代) 講師: 岡崎雄児さん 主催: 日中友好協会横浜西南支部 問合せ: 080-2981-3935 (大幡さん)
- ☆5 月 17 日 (土) 13:30~ 西湘地域自治体問題研究所定期総会・記念講演 会場: おだわら市民交流センター UMECO 会議室 1・2 (小田原駅徒歩 3 分) 14 時 30 分~ 講演: 中山徹さん (奈良女子大学名誉教授)「地域から築く自治と公共」 問合せ: 0460-85-5873 (小川さん)
- ☆5 月 17 日 (土) 14:00~16:00 日本コリア協会・川崎第 15 回総会・記念講演「1 世紀前の暗黒を繰り返さないために」 会場: 川崎市総合自治会館大会議室 (JR 武蔵小杉駅徒歩 3 分) 講師: 大岡健吾さん (日本コリア協会・川崎代表) 資料代 500 円 問合せ: 044-922-4025 (大岡さん)
- ☆5 月 17 日 (土) 14:00~16:30 ノーベル平和賞受賞記念 安田和也さん講演会 広島・長崎 80 年、戦後核被害をたどる~第五福竜丸は核なき世界へと航海中です 会場: 磯子区民文化センター杉田劇場ホール (JR 新杉田駅徒歩 3 分、京急線杉田駅徒歩 5 分) チケット代: 一般 1000 円、学生・高校生以下無料 講師: 安田和也さん (都立第五福竜丸展示館学芸員) ノーベル平和賞受賞報告: 和田征子さん (日本原水爆被害者団体協議会事務局次長) コーラス「ひこう船」の合唱 主催: 根岸線沿線九条の会連絡会 問合せ: 090-7175-1911、goto(at)kd5.so-net.ne.jp
- ☆5 月 17 日 (土) 14:00~16:30 秘密保護法廃止をめざす平塚市民の会の総会&講演会 会場: 平塚市中央公民館 4 階ホール (平塚駅徒歩 15 分) 講演: 東勝廣 (神奈川県原爆被災者の会事務局長)「原爆被災者が語る平和への思い」 資料代 500 円、高校生以下無料 問合せ: 090-6167-9079 (原さん)
- ☆5 月 17 日 (土) 14:00~16:30 シンポジウム: 東アジアでの平和の準備を in 福岡 会場: 福岡国際会議場 2 階多目的ホール (地下鉄呉服町駅徒歩 12 分) YouTube 同時配信予定 入場無料 コーディネーター: 頼瀬厚さん、猿田佐世さん、仲山忠克さん、志位和夫さん 共催: 全国革新懇、福岡革新懇 問合せ: 03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 17 日 (土) 18:00~ 神奈川区に憲法九条の碑をつくる会 (仮称) 第 1 回発会準備 会場: 神奈川区革新と共同の会事務所 (西神奈川 1-13-14 ライオンズマンション東白楽第 2-503) 問合せ: 090-7900-4934 (前田さん)
- ☆5 月 17 日 (土) 18:30~20:45 布施祐仁講演会「ミサイル基地化する日本列島と平和の課題」 会場: 鶴見公会堂 (JR 鶴見駅西口徒歩 2 分、西友 7 階) zoom 参加も可能 (連絡先へ) 参加費 700 円 講師: 布施祐仁さん (フリージャーナリスト) 主催: 戦争準備に反対する首都圏反基地交流会 連絡先: 080-1082-9980、haruhisa-takase(at)nifty.cm (高瀬)
- ☆5 月 18 日 (日) 10:30~14:30 第 33 回かながわピースフェアー大和平和まつり 場所: 相鉄線大和駅東側プロムナード 平和行進、ピースセレモニー、模擬店 主催: 実行委員会など 問合せ: 046-200-5388 (神奈川土建労組大和支部気付)
- ☆5 月 18 日 (日) 13:00~14:30 今こそ実現を選択的夫婦別姓~選択的夫婦別姓を考える会 会場: 横浜情報文化センター (情文ホール) (みなとみらい線日本大通り駅 3 番出口直結) 講師: 枝野幸男 (衆議院議員、立憲民主党元代表) 主催: 立憲民主党神奈川県総支部連合会 ジェンダー平等推進委員会 申込み先: Fax. 045-226-2378、<https://forms.gle/15URfHJRn6highPN9>
- ☆5 月 18 日 (日) 13:00~16:00 シンポジウム: いっしょに考えようー福島で原発事故から 14 年 会場: 福島県二本松安達文化ホール (JR 東北本線安達駅徒歩 10 分) 資料代 1000 円 (大学生以下無料) シンポジスト: 伊東達也さん (原発問題住民運動全国連絡センター代表委員、コーディネーター兼)、今野秀則さん (浪江町津島訴訟原告団長)、千葉悦子さん (福島大学名誉教授)、岩淵友さん (日本共産党参議院議員) 5 月 17 日に被災地バスツアーアリ 主催: 福島県革新懇 (090-3645-6146、藤倉)、ふくしま復興共同センター (024-52203097、福島県労連)、全国革新懇 (03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org)
- ☆5 月 18 日 (日) 14:00~16:40 学習講演会: 戦争させないためいま、私たちにできること 会場: 小田原市川東タウンセンターマロニエ 202 号室 (JR 鴨宮駅徒歩 15 分) 講師: 渡辺治さん (一橋大学名誉教授、九条の会事務局員) 主催: おだわら・九条の会 問合せ: 080-5510-9510 (金子さん)
- ☆5 月 18 日 (日) 14:00~15:00 月イチ街頭宣伝アクション マイナ保険証を強制するな! マイナンバーカードなんていない! 場所: 東京・JR 新宿駅南口改札前歩道 主催: 共通番号いらないネット 問合せ: 080-5052-0270 (担当: 宮崎)
- ☆5 月 18 日 (日) 17:30~ 学術会議が危ないー新法人設立の狙いは何か 講師: 福田護 (弁護士) 会場: かながわ県民センター 301 号会議室 (横浜駅西口徒歩 5 分) Zoom ウェビナーによる同時配信 下記 url からご登録ください 参加費: 無料 (事前申し込み不要) 賛同団体: 戦争させない横浜市民ネットワーク、ノースドック米軍配備反対ネット かわさき 呼びかけ人: 山根徹也 (横浜市立大学教授)、本田正男 (弁護士) 申込み: https://us02web.zoom.us/join/register/WN_se0CP0ymT42zynfL5vZ7CA 連絡先 090-8113-2867 久利嘉文 (ノースドック米軍配備反対ネットかわさき)
- ☆5 月 19 日 (月) 17:30~18:40 日本科学者会議創立 60 周年記念 JSA 岡山支部例会 Zoom よもやま話の会ポスト中国地区シンポ JR 芸備線再構築協議会における議論の行方 根石憲司氏 (新見市副市長) 開催方法: Zoom を使ったリアルタイムオンライン 参加無料 申込み: JSA 岡山支部事務局長 高原周一 086-256-9607 (内線 1319) e-mail: takahara@ous.ac.jp
- ☆5 月 19 日 (月) 18:30~ 戦争できる国づくりを許さず、選択的夫婦別姓を実現しよう! #theEND 自民党政治 #0519 議員会館前行動 #大軍拡反対請願署名 の提出も行います。場所: 衆議院第 2 議員会館前を中心に (国会図書館方面も御利用下さい) 共催: 戦争させない・9 条壊すな! 総がかり行動実行委員会/9 条改憲 NO! 全国市民アクション
- ☆5 月 20 日 (火) 17:00~19:00 日中 Cafe 中国について楽しく学びおしゃべりしましょう 会場: かながわ県民センター 711 号室 (横浜駅西口徒歩 5 分) テーマ: 貴州省旅行記 講師: 藤乗義行さん (日中友好協会湘南支部) 主催: 日中友好協会神奈川県連合会 問合せ: 080-7937-0638 (小出さん)
- ☆5 月 21 日 (水) 11:00~ 防衛大学校いじめと人権侵害の裁判 11:00~12:30 事前宣伝行動 場所: 新橋駅前 (SL 広

- 場) 15:00～ 裁判 会場：東京高裁 101 号法廷 公判後、報告会 会場：衆議院第一議員会館第 5 会議室 連絡先：防衛大学校いじめと人権侵害の裁判を支援する会 (090-9317-4800)
- ☆5 月 23 日 (金) 13:30～15:00 **全国革新懇特別企画 戦後 80 年・社会合意から 45 年 いま革新懇運動の経験・教訓をどう生かすのか** 会場：全労連会館 2 階ホール (御茶ノ水駅徒歩 15 分) 講師：渡辺治さん (一橋大学名誉教授) 主催：全国革新懇 問合せ：03-6447-4334
- ☆5 月 24 日 (土) 10:00～17:00 **日本科学者会議第 56 回定期大会** zoom によるオンライン開催 問合せ：mail(at)jsa.gr.jp
- ☆5 月 24 日 (土) 10:30～16:30 **全国革新懇第 44 回総会** 会場：全労連会館 2 階ホール (御茶ノ水駅徒歩 8 分) 参加希望者は 5 月 14 日までに連絡ください。主催：平和・民主・革新の日本をめざす全国の会 (全国革新懇) 問合せ：03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 24 日 (土) 12:00～19:00 **第 69 回酒祭・天狗講・平和祈願** 会場：大山阿夫利神社旅館上神崎 参加費 8000 円 (豪華弁当、飲み物、酒飲み放題) 集合場所：12 時に阿夫利神社下社大天狗の碑前 記念講演：井上啓 (弁護士) 「戦後 80 年に考える戦争責任～「原爆裁判」「横浜 BC 級戦犯裁判」を今日にどう生かすか」 奉納芸能：岡大介 (カンカラ三線演歌師) 「オッペケペーな政治家にマックロケな世の中にあわからないと笑い飛ばす!」 トランペット：松平晃、うたごえ：高橋由美 (弁護士) ほか、日本舞踊：明日香貴桃 (明日香流名取) 申込み・問合せ：下町人間の会 (03-3876-3355)、文化集団天狗講事務局 (045-662-2226)
- ☆5 月 24 日 (土) 13:30～15:30 **学習会 横浜市政、どう変わった?** 会場：磯子社会教育コーパー研修室 AB 参加費 500 円 講師：菅野隆雄さん (市民の市長をつくる会事務局長) 主催：市民のための市政をすすめる磯子の会 問合せ：080-1151-0943 (土志田)
- ☆5 月 24 日 (土) 14:00～ **沖縄戦 80 年一戦争体験をどう引き継ぐか!? ひめゆり平和祈念資料館のこれまでとこれから** 会場：文京シビックセンター4 階シルバーホール (地下鉄後楽園駅徒歩 3 分) 資料代 500 円 (予約不要) 講師：普天間朝佳さん (ひめゆり平和資料館館長) 主催：沖縄戦の史実歪曲を許さず沖縄の真実を広める首都圏の会 共催：沖縄平和ネットワーク首都圏の会 問合せ：080-5874-0724 (事務局)
- ☆5 月 25 日 (日) **若者憲法集会** 午前 関連企画：高校生企画 10 時半～12 時 (日比谷図書文化館コンベンションホール)、おにぎり憲法～ノーライズ・ノーライフ 10 時～11 時半 (エデュカス東京地下会議室 AB)、学生企画「激動の世界 平和の本流を前に」10 時 15 分～ (有楽町朝日ホール)、監視社会の実態と自己情報コントロール権 10 時半～12 時 (全国家電会館)、労働組合企画「ボートゲームで遊ぶ『憲法』」10 時～12 時 (未定、有楽町駅付近)、核兵器で平和は守れるかーいまこそ被爆者の訴えを聞こう 10 時半～12 時 (文京区民センター2 階 2-A 会議室) 13:20～ メイン企画 講師：小畑雅子さん (婦団連会長) 会場：有楽町朝日ホール 15:45～ デモ行進日比谷公園口出発予定 主催：実行委員会 (wakamonokenpou(at)gmail.com)
- ☆5 月 25 日 (日) 11:00～15:00 **第 30 回公害・環境、健康、まちづくりフェスタ** 場所：JR 武蔵溝ノ口駅前ペデストリアンデッキ 展示、音楽、マジックショー、相談コーナー 主催：実行委員会 問合せ：044-211-0391 (川崎公害病患者と家族の会)
- ☆5 月 25 日 (日) 13:00～17:00 **NPO かながわ総研連続セミナー「マルクス主義とは何であったのか?」第 2 回：マルクス理論の形成** 対面+オンライン 対面は先着 70 名 講師：渡辺憲正 (関東学院大名誉教授) 会場：桜木町ぴおシティ 6 階第 1 会議室 (地下鉄・JR 桜木町駅徒歩 3 分) 主催：NPO 法人かながわ総合政策研究センター 参加費 全 6 回で 15000 円 (テキスト、原典資料集など)、学生・大学院生は無料 (テキスト代・資料代は 2000 円) 申込先：npo-soken(at)blue.ocn.ne.jp、045-662-9839
- ☆5 月 25 日 (日) 13:30～16:00 **第 15 回鶴見平和フェスティバル 平和を創る集い in 鶴見 守ろう憲法! 取り戻そう世界に平和を!** 会場：鶴見公会堂ホール (JR 鶴見駅西口直結、西友鶴見店 6 階) 参加費 999 円、高校生以下無料 公演：松元ヒロさん (スタンダップコメディアン) 和太鼓演奏：笑鼓楽 歌声：南部合唱団 呼びかけ人 後藤仁敏 (鶴見大学名誉教授)、前川雄司 (弁護士)、宮澤由美 (汐田総合病院院長)、野末浩之 (横浜勤労福祉協会理事長) 主催：実行委員会 連絡先：よこはま健康友の会事務局 (045-947-3260)
- ☆5 月 25 日 (日) 13:30～16:00 **第 30 回平和のための戦争展 in よこはま特別企画** 会場：かながわ県民センター2 階ホール (横浜駅西口徒歩 5 分) 挨拶と講演：和田征子さん (日本被団協事務局次長) 「被爆 80 年、ノーベル平和賞受賞・オスロからニューヨークへ、そして、これから」朗読：岡崎弥保さん (俳優) 「ヒロシマのピカ」体験を語る「忘れられない記憶・横浜大空襲、語り継がなければ」など 資料代 800 円、高校生以下無料 主催：実行委員会 問合せ：090-8726-6227 (吉沢さん)
- ☆5 月 25 日 (日) 13:30～16:30 **講演会「近世社会の性売買をどうみるか」** 会場：法政大学第二中・高等学校時計台校舎 2 階 (武蔵小杉駅徒歩 15 分) 講師：横山百合子 (国立歴史民俗博物館名誉教授) 資料代 1000 円、学生無料 主催：神奈川県歴史教育者協議会 問合せ：0466-24-1731 (持田さん)、kanareki.jimukyoku(at)ozzio.jp
- ☆5 月 25 日 (日) 14:00～16:00 **第 97 回草の根菌科勉強会 加害者を放置したままでいいのか?** 講師：山口のり子氏 (一般社団法人アウェア) 会場：梨の木カフェ (10 名まで、JR 水道橋駅東口徒歩 5 分) と zoom 併用 要申込 参加費無料 (希望者はコーヒー代 500 円) 主催：草の根菌科研究会 問合せ：yayoiokada(at)pcs.mfnet.ne.jp (岡田弥生)
- ☆5 月 25 日 (日) 14:00～17:00 **連続シンポジウム「NHK と放送メディアのこれから」第 1 回フジテレビ問題からテレビの未来を考える** 講演者：田淵俊彦氏 (桜美林大学教授)、大島新氏 (東京工芸大学教授)、村井明日香氏 (昭和女子大学准教授)、砂川浩慶氏 (兼司会、立教大学教授) 会場：立教大学池袋キャンパス 5 号館 5121 教室 (JR 池袋駅西口徒歩 10 分) 資料代 500 円 主催：立教大学社会学部メディア社会学科砂川ゼミ、市民とともに自立した NHK 会長を求める会 問合せ：小滝一志 (090-8056-4161)
- ☆5 月 25 日 (日) 15:00～16:30 **大軍拡・大増税 NO! パレード** 場所：本郷台駅前 (雨天の場合は中止) 主催：大軍拡・大増税ストップ栄区アクション 問合せ：090-1258-4710 (筒井)

- ☆5月27日(火) 18:15~20:45 「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム 参議院選挙でも与党過半数割れ 次の衆議院選挙で政権交代を目指して！私たちが実現を望む政治はこれだ！ 第1部：私たち（共同テーブル発起人）が望む政策；杉浦ひとみ（弁護士）、竹信三恵子（和光大学名誉教授）、白石孝（官製ワーキングプア研究会理事長）、額田厚（山口大学名誉教授）、佐高信（評論家）、清水雅彦（日本体育大学教授） 第2部：立憲野党はどう受け止めたか：立憲民主党・落合貴之（衆議院議員）、日本共産党・吉良よし子（参議院議員）、社会民主党・西みゆか（参議院選予定候補）、新社会党・かい正康（参議院選予定候補）、コーディネーター・佐高信 会場：文京区民センター3A（地下鉄春日駅徒歩2分） 資料代1000円 主催：共同テーブル 申込み先 e43k12y(at)yahoo.co.jp 連絡先：藤田（090-8808-5000）
- ☆5月29日(木) 18:00~21:00 （再開）「新ちよぼゼミ」（第10回目）予約必要「トランプ政権とこれからの日本」孫崎享さん 会場：たんぼぼ舎（JR水道橋駅西口徒歩4分、神田三崎町3-3-1TKiビル3階）参加費（資料代含む）900円（学生500円）講師：孫崎享さん（東アジア共同体研究所理事・所長。元外務省国際情報局長） 申込み：03-3238-9035（たんぼぼ舎）
- ☆5月29日(木) 13:30~17:00 横浜大空襲祈念のつどい 会場：横浜市中区・にぎわい座地下小ホール（桜木町駅徒歩5分）体験者の講和など 資料代500円 主催：横浜の空襲を記録する会 問合せ：090-8303-7221（藤井さん）
- ☆5月29日(木) 18:00~ 憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション 場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆5月30日(金)~6月1日(日) 10:00~19:00（最終日は18時まで） 平和のための戦争展展示 会場：県民センター1階展示場（横浜駅西口徒歩5分） 入場無料 主催：実行委員会 問合せ：090-8726-6227（吉沢さん）
- ☆5月31日(土) 13:00~17:00 働くもののいのちと健康を守る神奈川センターの講演・総会・つどい 会場：波止場会館5階会議室（みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分） 特別講演：九後健治（全国センター事務局長）「働かせ方をめぐる動きと課題（仮題）」 総会 労災・職業病・解雇者を励ます交流のつどい 問合せ：045-212-5855（神奈川労連）
- ☆5月31日(土) 13:30~16:00 平和のための戦争展特別企画 会場：県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分） 講演：小沼通二（慶応義塾大学名誉教授）「戦後80年、戦争も核もない世界を」 朗読劇「マブニのアンマー・沖縄の母」 資料代800円、高校生以下無料 主催：実行委員会 問合せ：090-8726-6227（吉沢さん）
- ☆5月31日(土) 15:00~17:00 医療・福祉問題研究会第155回研究例会 児童養護施設の労働問題一子ども・職員双方の人権保障のために 報告者：堀場純矢さん（日本福祉大学社会福祉学部教授） オンライン(zoom)開催 参加無料 主催：医療・福祉問題研究会（〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内、ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>） 問合せ：ihmk1986★gmail.com（送信時は、★→@に変えてください）
- ☆6月1日(日) 14:30~16:30 平和を願う講演会 会場：大和市渋谷学習センターイコーザ2階ホール（小田急線高座渋谷駅西口徒歩1分） チケット800円（当日1000円、高校生・大学生・障害者無料） 講演：萩原博子さん（経済ジャーナリスト）「私たちはなぜこんなに貧しくなったのか」 主催：憲法九条やまとの会 予約：046-272-8880、事務局、090-2667-4219（久保）
- ☆6月2日(月) 13:30~（110分） 映画「〇月〇日、区長になる女」上映会 上映後監督ペヤンヌマキさんトークあり 会場：川崎アートセンターアルテリオ映像館（小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分） 定員100名（予約優先、予約は連絡先へ） 料金1000円 主催：地域から平和を考える会 連絡先：田中（044-946-1485）、森（080-6617-3997）
- ☆6月6日(金) 18:00~ 市民のための横浜市政を進める会各区（団体）関係者会議 会場：横浜市開港記念会館1号会議室（みなとみらい線日本大通り駅徒歩2分） 内容：横浜市長選挙に対する「市民の会」の対応について 参加費300円 主催・問合せ：市民のための横浜市政をすすめる会 事務局長 政村修（080-5174-1471）
- ☆6月6日(金) 14:00~16:30 ハーブと講演のつどい 未来は変えられる！ 金平茂紀さん大いに語る 会場：宮前市民館大会議室（東急田園都市線宮前平駅北口徒歩8分） オープニング演奏：西村由里さん 講演：金平茂紀さん（ジャーナリスト） 資料代500円 主催：トーク19区市民の会 問合せ：090-1884-0196（田中さん）
- ☆6月7日(土) 10:00~ 「児童虐待と社会的養護」ー沖縄の現状と私たちの活動 講演：須藤竜・千暁 会場：産業交流プラザ交流サロン（汐入駅徒歩3分） 問合せ先：よこすかオレンジの会・印田（090-3431-1450） 予約者優先（定員をオーバーした時）、入場無料
- ☆6月8日(日) 10:00~17:00 日本科学者会議第56回定期大会（続） zoomによるオンライン開催 問合せ：mail(at)jsa.gr.jp
- ☆6月8日(日) 10:00~15:00 第69回神奈川地学ハイキング：よこはま動物園ズーラシアで動物の進化を学ぶ 集合：よこはま動物園ズーラシア正門前に10時集合（相鉄線鶴ヶ峰駅から北に徒歩5分のバスターミナル9番乗り場から「よこはま動物園」行きバスで約15分） 小雨決行 案内：後藤仁敏（古生物学者） 持ち物：筆記用具、昼食、水分など 参加費：入園料は大人800円、高校生300円、小・中学生は200円（20名以上だと団体割引で2割引き）、資料代と保険料で300円 主催：地学団体研究会の神奈川支部 申込み先：資料の用意のため事前に申込み願います。電話090-7175-1911（後藤）
- ☆6月8日(日) 10:00~16:00 第65回横浜母親大会 会場：保土ヶ谷公会堂（相鉄線星川駅徒歩4分） 分科会：映画「西から昇った太陽」（協力券500円）、教育、食の問題。記念講演：和田征子さん（日本被団協事務局次長）「原爆投下からノーベル平和賞まで」 資料代1000円、学生無料、障害者500円 主催：実行委員会 問合せ：045-663-0206
- ☆6月8日(日) 14:00~16:30 再審請求の「開かずの扉」を開いた最高裁「白鳥決定」50周年記念企画講演会 会場：横浜西公会堂2階1号会議室（横浜駅みなみ西口徒歩10分、相鉄線平沼駅徒歩5分） 白取祐司さん（北海道大学名誉教授）「白鳥・財田川決定とえん罪被害者救済の歴史」、鴨志田祐美さん（えん罪「大崎事件」再審弁護団）「再審法改正とえん罪被害者救済の展望」 17時~18時 横浜駅みなみ西口で街頭アクション 主催：日本国民救援会神奈川本部 問合せ：045-663-7953

- ☆6月11日(水) 14:00～15:30 (入館証交付 13時30分から) **院内集会「横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備と神奈川の基地の現状」** 会場:衆議院第二議員会館第3会議室(42人、YouTube参加できます。<https://www.youtube.com/live/JzNPpNP0I8M>) 国会議員あいさつ・署名提出 立憲民主党、日本共産党、社会民主党 報告:リムピース/星野潔さん、神奈川県平和委員会/菅沼幹夫さん、横浜市大教授/山根徹也さん、ノースドック反対連絡会/飛田久男さん、ほか 呼びかけ:横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会 連絡先:045-231-0103、e-mail:ndyhantai@gmail.com
- ☆6月13日(金) 12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所:JR桜木町駅前広場 呼びかけ:横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)
- ☆6月14日(土) 13:30～16:00 **どうなってるの? 子ども先生学校** 会場:藤沢市民会館第一展示ホール(藤沢駅南口徒歩10分) 参加費500円(学生無料) 講師:梶谷陽子さん(子どもと教科書全国ネット21事務局長) 主催:みんなの教育・藤沢ネット 問合せ:090-9959-6398(松本)
- ☆6月21日(土) 13:00～16:20 **第37回憲法フェスティバル 戦後80年と憲法～これまでとこれから** 音楽:コドモウインズ 講演:浅倉むつ子(早稲田大学名誉教授)「女性の権利を国際基準に～憲法と条約を活用しよう!」、山極壽一(総合地球環境学研究所所長)「人間の本生から平和の道を探る」 会場:日経ホール(地下鉄大手町駅C2b出口または竹橋駅4番出口) Youtube配信あり 参加費:前売1800円、当日2300円、障害者1000円(付添い1名無料)、学生以下無料 主催:実行委員会 申込み・問合せ:03-3511-5749
- ☆6月21日(土) 13:30～16:30 **『治安維持法-100年-「新しい戦中」にしないために』発刊記念 治安維持法とは何だったのか その歴史と現在を考える** 会場:全国教育文化会館エデュカス地下ホール(地下鉄麹町駅5番出口徒歩2分) 参加費700円 記念講演:荻野富士夫さん(小樽商科大学名誉教授) 高校授業実践報告:伊藤和彦さん(名古屋市立高校教員) 教科書分析:河合美喜夫さん(元都立高校教員)「治安維持法は教科書にどう記述されているか」 主催:歴史教育者協議会、大月書店 問合せ:03-3947-5701(歴教協)
- ☆6月25日(水) 14:00～15:30(予定) **大軍拡・増税 NO!スタンディング・署名行動** 場所:港南台駅前(雨天の場合は中止) 主催:大軍拡・増税ストップ栄区アクション 問合せ:090-1258-4710(筒井)
- ☆6月27日(金) 13:00～16:00 **第28回ピースフェスタ港南** 会場:港南区ひまわりの郷ホール(京急線・地下鉄線上大岡駅徒歩5分) 講演者:羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授)「戦後80年とアメリカの衰退 トランプ大統領は何をしようとしているか」 ジャズ演奏(4 Piece for Peace) 童謡・唱歌(ももたろう) 協力券:大人1000円、小中高生500円 主催:実行委員会 問合せ:ユーコープ横浜南2エリア事務所(045-721-2526)
- ☆6月28日(土) 14:00～16:45 **第9回九条の会全国交流集会(オンライン)** 目的:憲法9条などを巡る最近の情勢の認識の交換と、各地の活動を交流し、今後の活動の糧とする。集会形式:zoomを使用するのオンライン集会 参加対象:各地・各分野の九条の会、呼びかけ人、世話人、事務局、運営スタッフなど。主催:九条の会事務局 参加希望の方は、次の申込フォームへアクセスし、必要事項の入力をお願いします。申込フォーム:https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeY6Tf2pD90DTTrjuXRkeXr_s9iqiim8TqCgJ2_LjAdtH9oleg/viewform?usp=header QRコードは右。参加される方で、交流集会当日に資料の共有を希望される方は、九条の会事務局の次のメールアドレスまで、データをお送りください。9jyonokaijimukyoku@gmail.com なお、このアドレスは、資料受取専用のアドレスです。このアドレスへお問い合わせ等いただいてもご回答いたしかねますので、ご了承ください。申込フォームで参加申し込みされた方には、登録いただいたメールアドレス宛に、①交流集会当日のzoomのURL等と、②みなさまからお送りいただいた資料を共有するURLをご案内いたします。問合せ:03-3221-5075
- ☆6月29日(日) 13:30～15:30 **第13回千葉サイエンスカフェ** JSA千葉支部では、科学の普及を目指す企画として、話題に興味がある子どもから大人までを対象に、一般公開で不定期ですが「サイエンスカフェ」という談話会を市民活動支援センター(千葉市文化センター9階)でこれまでに12回開催してきました。今回は6月29日(日)13:30～から大久保紀雄さんを話題提供者として開催を予定しております。皆様、ふるってご参加ください。対象:話題に興味がある子どもから大人まで。講演テーマ:ライブニッツとスピノザー17・18世紀の哲学 講師:大久保紀雄さん 会場:千葉市文化センター9階(市民活動支援センター談話室、千葉中央ツインビル2号館、JR総武線千葉駅、京成千葉線千葉中央駅徒歩10分:千葉都市モノレール菟川公園駅徒歩3分) オンライン参加の場合はURL:<https://meet.jit.si/JSACHibaStaffmeeting> にご接続下さい。主催:日本科学者会議千葉支部



JSA 神奈川支部幹事会・発送作業

日時:6月17日(火) 14時30分～15時30分、発送作業は14時30分、幹事会は15時から。

会場:かながわ総研事務所(横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階、JR関内駅西口徒歩3分)。

連絡先:飯岡ひろし(携帯:080-1987-0994、E-mail:jsa.kanagawa(at)gmail.com)

次号の原稿の募集:近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先:後藤仁敏(E-mail:goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax:045-894-1052)